

「よこはま☆保育・教育宣言 ～乳幼児の心もちを大切に～」を策定しました。

この宣言は、1,000を超える多様な保育・教育施設がある横浜で、保育の質の向上に向け、全ての保育者が、何を大切に乳幼児期の子どもたちと日々関わるかの基本になるものとして策定しました。

全ての保育者が、この宣言を理解して日々の保育で実践することで、子どものよさや可能性に気づき、家庭や地域の皆様と子どもの姿を共有したり、保育の振り返りに活用します。

1 策定の経過

施設種別等に関わらず、宣言を保育・教育現場の皆さんと共有するため、保育園、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業、横浜保育室、小学校や、保育・幼児教育の専門家の皆様にご協力をいただき、共に策定しました。

2 宣言の対象

公立・私立保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業、横浜保育室、認可外保育施設等、市内の保育・教育施設で働く職員

3 今後の周知・活用

全ての保育者へのリーフレットの配布や、周知イベント・研修の開催に加え、事例動画を作成します。

4 よこはま☆保育・教育宣言の概要

・共有したい子どもの姿・方向性 今と未来を生きる子どもを育みます

乳幼児期は、一人ひとりの子どもが自分自身でやりたいことを見つけ、未来を切り拓いていく力をつけていくためにとても大切な時期です。主体的に周りの環境に関わり、夢中になって遊びこむ中で、様々な学びの芽生えが見えてきます。

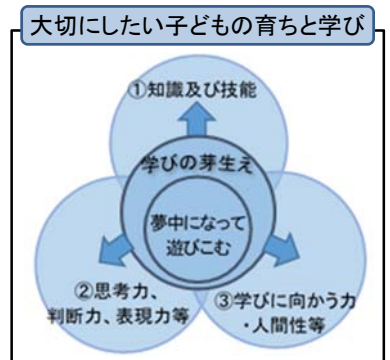
・宣言1 安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育します

- (1) 安心感・信頼感を大切に、子どもを守ります。
- (2) 子ども一人ひとりを受け止めます。
- (3) 子どもが様々な人と関わることを大切にします。

・宣言2 子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします

- (1) 乳幼児期の子どもが、豊かで多様な環境と関わりながら育つことを大切にします。
- (2) 夢中になって遊びこむことによる育ちを大切にします。
- (3) 保育者の重要な仕事は一人ひとりの子どものよさを発見し、育てることです。

・幼保小の連携 乳幼児期の育ちと学びを受け止め、小学校以降の教育につなげます



5 素案に関する市民意見募集の実施結果

・令和元年12月20日～令和2年1月20日に市民意見募集を実施し、98通143件のご意見をいただきました。

・宣言の内容、市民意見募集の実施結果は、下記ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/shitukoujou/sengen-ikenbosyuu.html>

お問合せ先

こども青少年局保育・教育人材課長

甘粕 亜矢 Tel 045-671-2706